

意見書（案）第25号

東京外郭環状道路（関越～東名）工事における安全性の確保を求める
意見書

上記の意見書（案）を別紙のとおり提出する。

令和2年12月21日

三鷹市議会議長 石 井 良 司 様

提出者	三鷹市議会議員	粕 谷 稔
賛成者	〃	土 屋けんいち
〃	〃	宍 戸 治 重
〃	〃	寺 井 均
〃	〃	谷 口 敏 也
〃	〃	大 城 美 幸
〃	〃	野 村 羊 子
〃	〃	山 田 さとみ
〃	〃	成 田 ちひろ

東京外郭環状道路（関越～東名）工事における安全性の確保を求める 意見書

去る令和2年10月18日に調布市東つつじヶ丘2丁目の東京外郭環状道路（関越～東名）本線トンネル工事現場の上部において、調布市の市道で陥没する事象が発生し、陥没事象の原因究明と外郭環状道路本線工事との因果関係も含めた調査結果が出るまでは、工事が中断されている。

その後、同年11月3日には、現場付近において地表面から深度約5メートルにおいて、幅約4メートル、長さ約30メートル、厚さ約3メートルの空洞が確認され、さらに11月21日には、地表面から深度約4メートルにおいて、幅約3メートル、長さ約27メートル、厚さ約4メートルの空洞が確認され、近隣住民より不安の声が上がっている。

12月18日に開催された東京外環トンネル施工等検討委員会有識者委員会では、陥没・空洞の要因について「特殊な地盤条件下において行われたシールドトンネルの施工が、陥没箇所を含む空洞の要因の一つである可能性が高いと推定される」としている。

特に本市では、本線上部の住宅地に加え、ジャンクションやインターチェンジが建設予定であることから、慎重かつ安全な工事を行っていただくことが重要である。

よって、本市議会は、政府に対し、今後の掘削等工事が予定される三鷹市内における安全性の確保及び三鷹市民の安全安心の確保の観点から下記について求めるものである。

記

- 1 調布市での道路陥没事象、地中空洞化の原因究明を早期に図ること。
- 2 原因究明により判明した内容については、速やかな情報提供と丁寧な説明を行うこと。
- 3 本線シールド工事の影響が確認された場合、具体的な再発防止策を徹底し、全工事の安全対策に万全を期すこと。
- 4 平成30年12月27日付で「東京外環（関越～東名）トンネル工事の緊急時の対応について」を策定しているが、今回の事象を踏まえ、より実効性のある内容とすること。
- 5 引き続き、沿線7市区と十分な情報共有を図り、定期的な協議を行うこと。

上記、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和2年12月21日

三鷹市議会議長 石 井 良 司